

臨床不整脈リアルタイム映像化システムの開発 臨床現場にささる 医療機器開発のポイントとは？

現代医療の急速な進展は、生体医工学に基づく医療機器開発によって支えられていると言っても過言ではない。しかし、臨床現場で求められる医療機器開発において、何に留意すべきか、何を優先すべきか、どこまで先を見通すべきか等は、医療機器開発チームにあまり共有されることは少ない。本講演では、我々のオンラインリアルタイム臨床不整脈映像システム(ExTRa Mappingシステム)の開発経験をご紹介します、臨床外挿性を意識した医療機器開発についてともに考える機会としたい。



講演者

芦原 貴司

 滋賀医科大学 情報総合センター・
医療情報部・循環器内科

1996年 滋賀医科大学 卒, 同 第一内科 入局(医員研修医)
1998年 国立循環器病センター研究所(任意研修生)
2002年 滋賀医科大学大学院 修了(医学博士), 循環器内科(医員)
2002年 [米国留学] Tulane大学コンピュータ心臓電気生理学・コンピュータ科学センター(ポスドク)
2004年 京都大学大学院医学研究科 細胞機能制御学(助手相当研究員)
2005年 滋賀医科大学 循環器内科・不整脈センター(助手, 2007年から助教に移行)
2012年 滋賀医科大学 循環器内科・不整脈センター(学内講師, 2016年から医療情報部兼任)
2017年 滋賀医科大学 循環器内科・医療情報部(講師, 2018年から情報総合センター兼任)
2019年 滋賀医科大学 情報総合センター(教授), 医療情報部(部長), マルチメディアセンター(センター長)



日 時

2025.3.6 木 開場 09:45
10:00-11:30

会 場

- 立命館大学びわこ・くさつキャンパス
カラーニングハウスII 505号室
- オンライン配信

 参 加 申 込
(無 料)

<https://x.gd/250306riko>
